

1

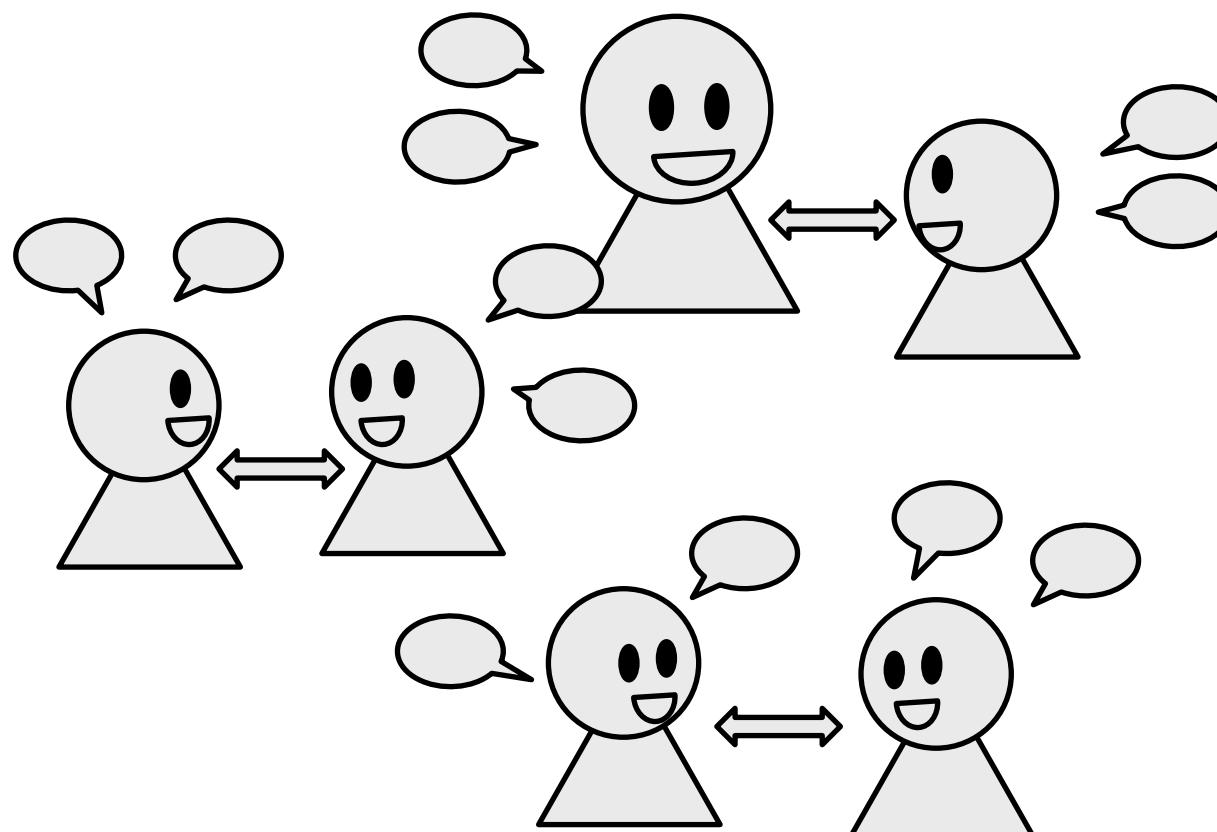
スピードストーミング

5分交代のペアブレスト

1. ペア・アイデア出し (他花受粉)

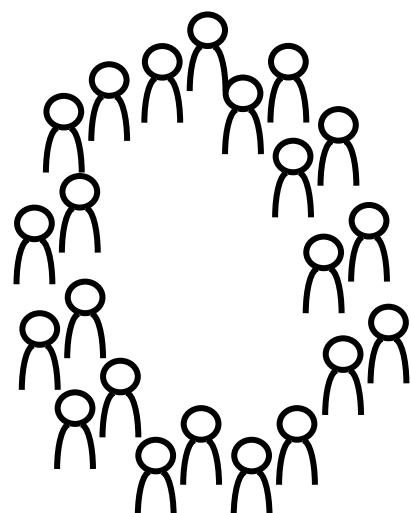
SpeedStorming

- MITで開発されたアイデアワークの方法
- 異なる専門の人同士の連携ネタを生み出しやすい

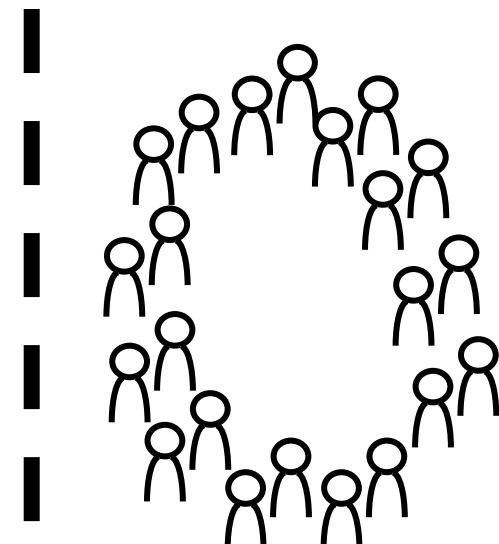


今のメンバーとできるだけ分かれ
会場全員で、大きな二重の円を作ります

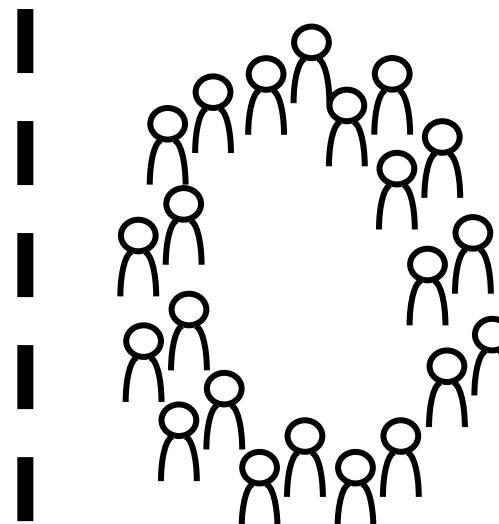
(目安=1ユニット20名)



A

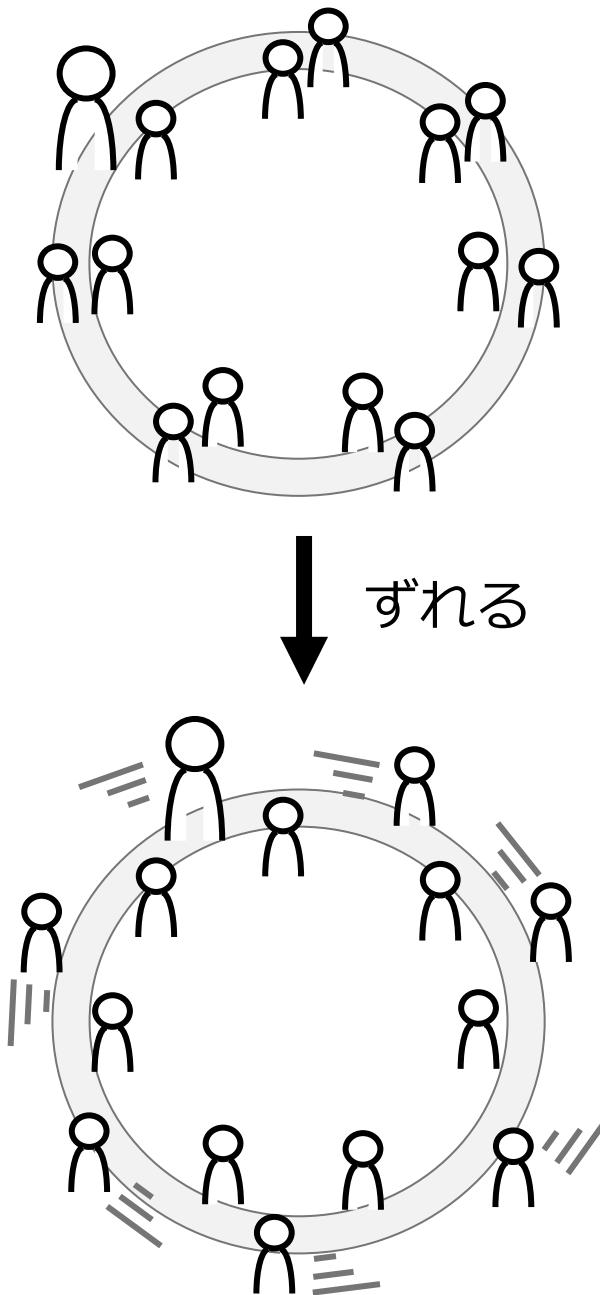


B



C

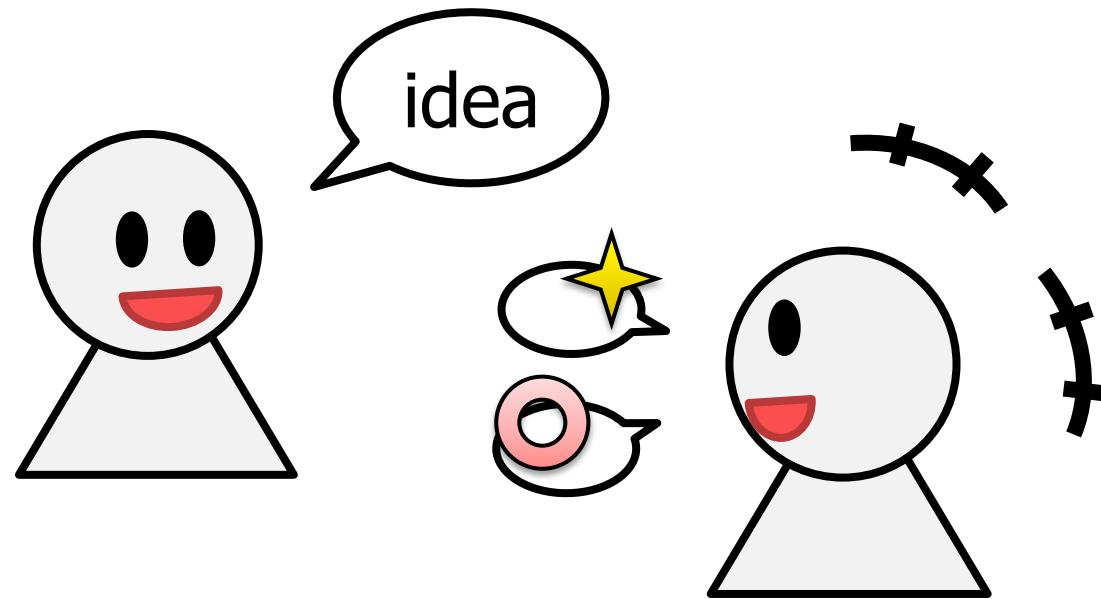
やり方 (30分)



- ① ペアで、輪に
- ② 5分間、ペアで
(ブレスト。お互いのアイデアを紹介しあって、拡げる)
- ③ 1分間、メモタイム
(会話を、徐々に収束)
- ④ 挨拶、外側が1つ移動
(時計回りに)
～ 計5回、実施

ルールを 1 つだけ。

「プレイズ・ファースト」

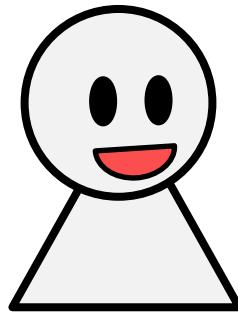


“アイデアの良い所に
光を当ててコメントする”

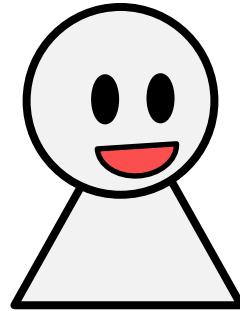
7

アイデアスケッチ

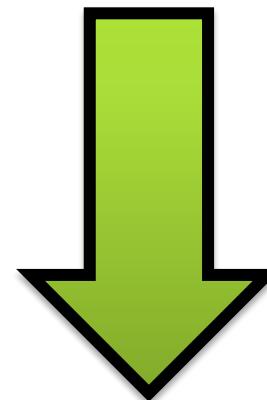
アイデアを書く



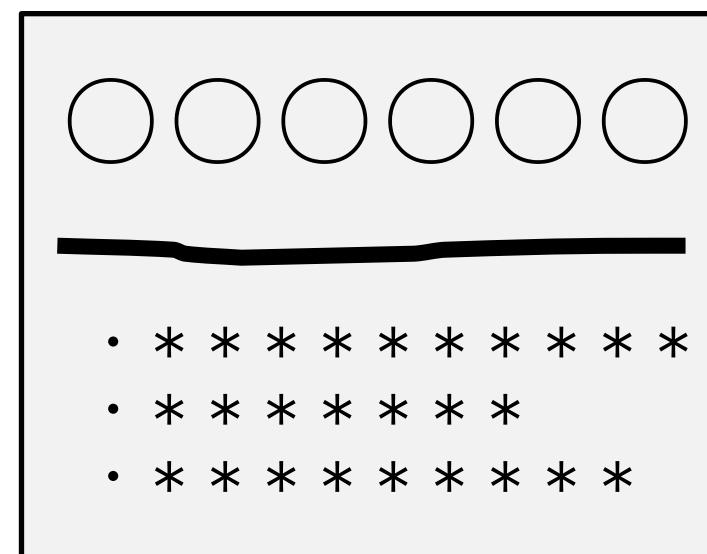
あのアイデア、
面白かったな



あのアイデア、
面白かったな



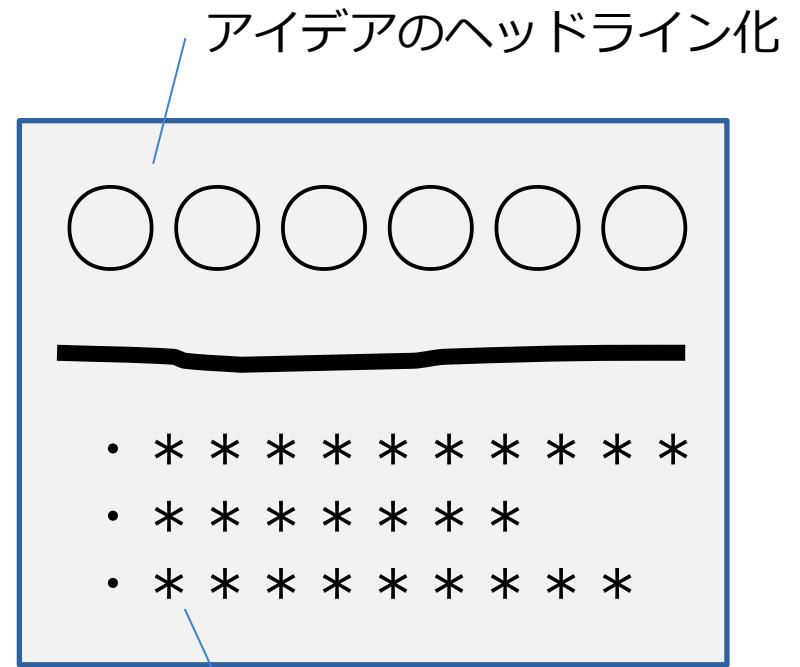
アイデアを、
少し具体化



アイデア
・スケッチ

アイデアの具体化

- ・自分が思いついていたアイデア
- ・人から聞いていいなと思っていたアイデア
- ・コメントできなかつたけど、こういうアイデアもありじゃない? と思ったもの
- ・など、頭の中を、シートに描きます。



1人3枚、8分 (+a)

アイデア・スケッチ

ヘッドライン化したアイデア（アイデアを一言で表現したもの）

アイデアの詳細や補足説明、3つまで（絵や図でもOK）



ヘッドライン化したアイデア（アイデアを一言で表現したもの）

モバイル瞑想室

アイデアの詳細や補足説明、3つまで（絵や図でもOK）

- ・ 椅子に座った状態で、全身すっぽり、の箱
- ・ 豊かな気持ちの暖かい色合いの瞑想室
- ・ 静寂な青の瞑想室、など

8

ハイライト法

良案抽出

ハイライト法

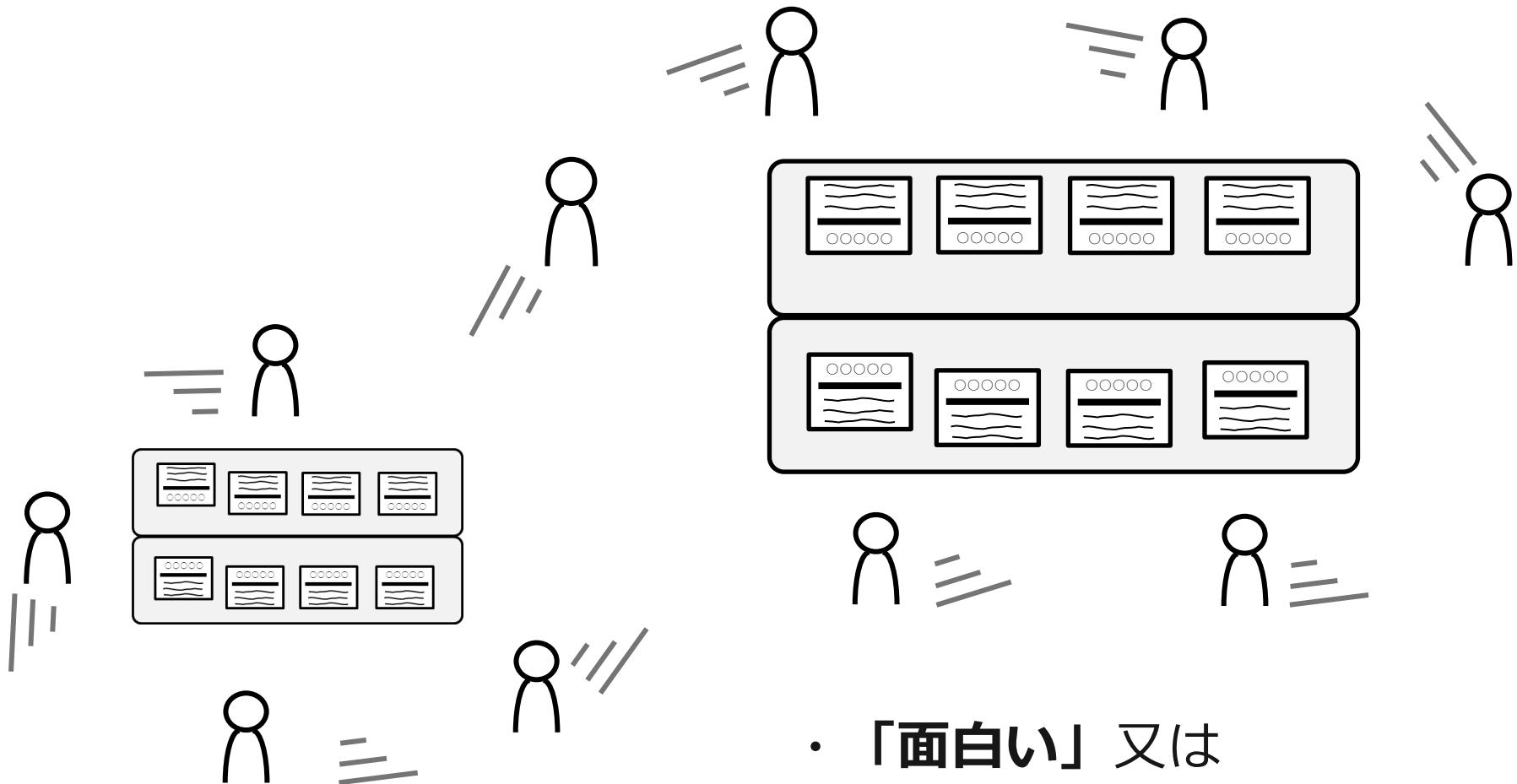
スケッチを机に並べ、皆でペンを持って
周り☆を付ける。

- ・「面白い」又は
- ・「広がる可能性がある」と
感じるものに、つける。

その後、トップアイデアを、紹介。

テーブルを回る。☆を付ける。

どれか
で説明



- ・「面白い」又は
- ・「広がる可能性がある」と
感じるものに

9

良案のレビュー

上位案の潜在可能性を引き出す

(参考：役割付与型ブレストも)

ハイライト法の上位アイデアは、
多くの人が「興味」や
「発展の可能性」を感じているもの

☆の多い順に上から、発案者が紹介し、
メンバーは

「感じた可能性」「アイデアの良い所」
「発展案、別バージョンのアイデア」

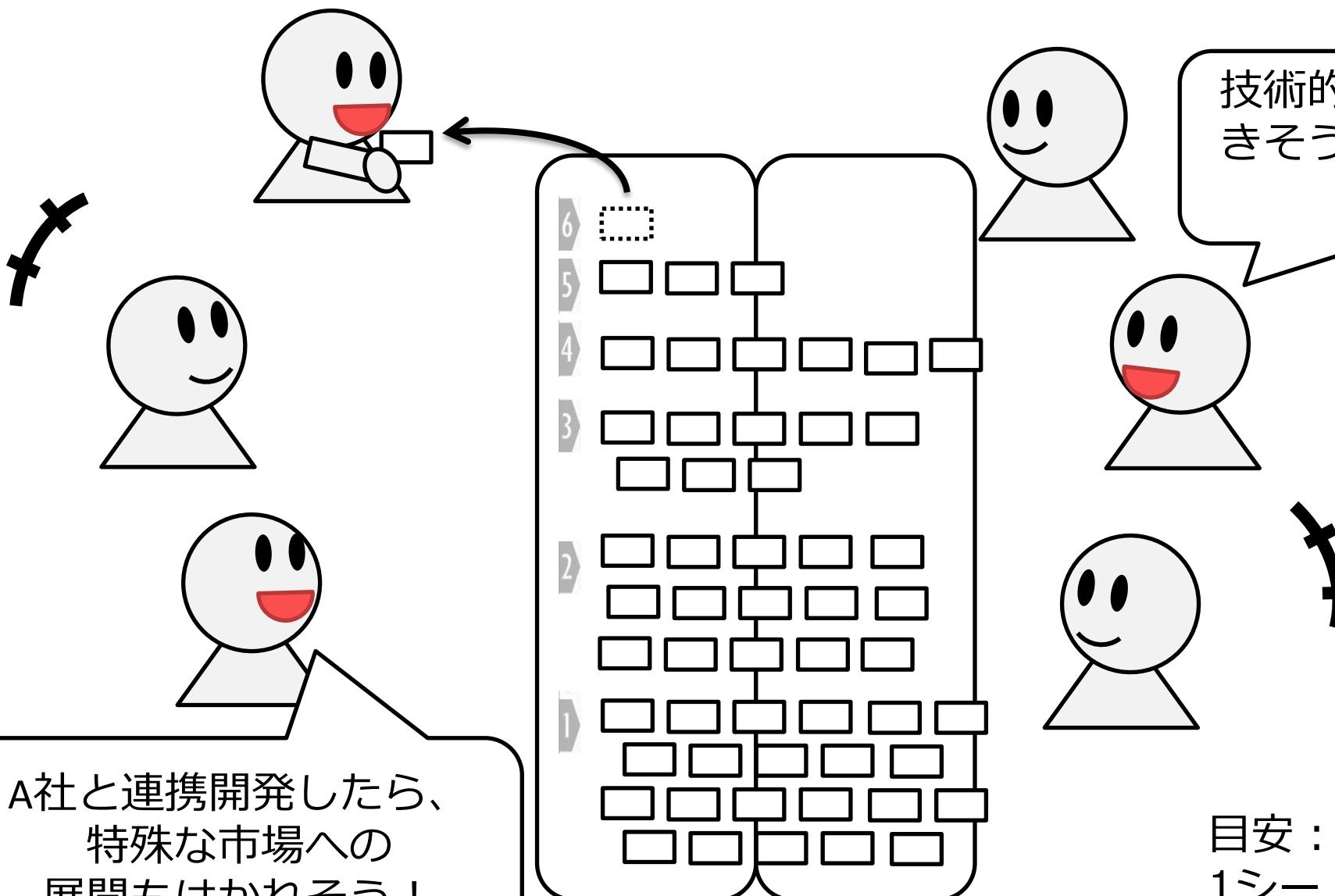
をコメントすることで、
更にアイデアを育てることができる

○○を□□する
というアイデアです

案を紹介
(発案者)

コメント
(メンバー)

「感じた可能性」「アイデアの良い所」
「発展案、別バージョンのアイデア」等



目安：
1シート=1~5分
合計10~30分

「役割付与型ブレスト」を したい場合

各自が仮想の役割を担当し
その観点で、

- 1) アイデアの良い点をコメントします。
- 2) 改良できる余地を見つけ提案します。

ex. 「営業担当」「生産担当」「収益担当」等々
あるいは、IDEAVoteにある「標準的な評価軸」（8つ）を利用

(人数が多い場で行っている場合)
や

(少数のアイデアをより深めたい場合)

トップ3つの案を旗にして、
そこへ均等に分かれて、
その即席チームで、
5分程度のミニブレストをします